

Title	飛騨(富田稔彦著, 飛騨高山町住伊書店發行)
Sub Title	
Author	有賀, 春雄(Arigo, Haruo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1934
Jtitle	史学 Vol.13, No.4 (1934. 12) ,p.213(795)- 214(796)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19341200-0214">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19341200-0214</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 書評

### 東洋思想の研究

(小柳司氣太著)  
關書院發行

本書は小柳博士が明治卅五年頃より最近に至る間に、種々の雜誌、各種の記念論集等に寄稿せられた百數十篇の中より、次の二十九篇を選び、大體著作年代順に次第して一書とされたものである。

「漢宋兩學縱談」、「清國現時の思想界(康有爲梁啓超一派の公羊學)」、「兪曲園に就いて」、「朱子哲學の研究に於ける二點の考察(儒佛の交渉と未發已發)」、「讖緯學を論ず」、「呂晚村の事蹟及び學說」、「墨子論」、「顔元の學」、「太公望」、「管子と周禮」、「三浦梅園」、「前清革命派の著書」、「トライチケと法家哲學」、「我國體と儒教」、「道教と眞言密教との關係を論じて修驗道に及ぶ」、「李慈銘の越縵堂日記について」、「道學と哲學」、「明末の三教(主として林兆恩と李贄)」、「支那古代の外交及び國際法」、「董誥・圖讖・教匪」、「後漢書襄楷傳の太平清領書と太平經との關係」、「東洋に於ける教育の根本義」、「文化史より見たる古代の楚國」、「支那妖亂考」、「小學に就いて」、「三教相互に關する典籍の二三(北山録。法藏碎金録。佛法大明錄)」、「東洋哲學思想の基調」、「三民主義の批評」、「支那の政治哲學(特に王道について)」

以上を一讀して直に感ずることは、その研究の範圍の頗る廣大なことである。従つてその爲に、又或物は大衆を相手にされた講演筆記である爲に、各種の問題を單に指摘して之を後日の研究に残された部分もあるのであるが、しかもかくの如く多方面にわたる各種の問題に就いて、専門家と雖も常に荆棘を切開いて倦まざる先驅者としての博士の風貌に心をうたれるであらうし、同時に博士の驥尾に附して新に攻究せんとする斯學の入門者は誠に有用懇切なる指針を其處に見出すであらう。筆者は嘗て、本書中に採録せられた「讖緯學を論ず」を哲學雜誌上に於て一讀し、少からず啓發せられたのであつたが、今本書によつて再讀し、二三補足せられた跡を發見して、當然の事ではあるが、敬服を禁じ得なかつた。本書に對する博士の態度と用意とは此の一事を以ても察し得るであらう。かゝる大冊の論集の個々に對する紹介と批評とは、到底此處に述べつくせるわけもなく、又その任でもないのであるから、筆者はたゞ之を紹介するに留るのであるが、關係各方面の士の此の良著に就かれんことを希望すると同時に、博士の如き耆宿の論著の一書となつて發行せられたことは、各種の雜誌を涉獵して、しかもその逸漏を恐れるの煩と憂とを除いたものとして、誠に同慶にたへない所である。(菊版六二三頁。定價四圓)

飛驒 (富田 稔彦 著)  
飛驒高山町住伊書店發行

本書は飛驒地方の郷土誌であり、また案内記であつて、著者の舊著「飛驒案内」に補修を加へて新たに刊行したものである。各

街道毎にその街道筋の自然と人文について記述し、旅行者の探訪に便ならしめてゐる。飛驒の高原に風物を探ねんとする人の携帯すべきものである。今や飛驒地方は縦貫鐵道の開通によつて新たな發展が約束された。かくて本書の如きも恐らく近き將來に於て再度補修を加へる必要に迫られるであらう。斯くあらんことを飛驒人士と共に筆者は希望する。(定價五十錢)(有賀春雄)

寄贈交換圖書雜誌目錄

- |   |           |
|---|-----------|
| 伊豫史談 八〇   | 伊豫史談會     |
| 歴史と郷土 八   | 神奈川縣歴史研究會 |
| 飛驒 富田稔彦著  | 住 伊 書 店   |
| 國 維 一一、一二   | 國 維 會     |
| 金雞學院叢書 八三、八四  | 金 雞 學 院   |
| 西洋史概説 内藤智秀著   | 教育研究會     |
| Aspectos Concretos del Problema de la Moneda n Montevideo |           |
| (Del Mexico actual—Num. 13)                               |           |
| Boletín oficial de la secretaria de relaciones exteriores |           |
| Toms LXIII Num. 8, 9                                      |           |
| El libro yel pueblo Tomo XII, Num. 8, 9                   |           |
| Letras VI, 55   |           |
| 蝦夷往來 一二、一三  | 尙 古 堂     |
| 防長史學 五ノ二  | 防長史談會     |
| 埼玉史談 六ノ二  | 埼玉史談會     |
| 禪學研究 二二   | 禪學研究會     |

- |                  |  |
|------------------|--|
| 文化 一〇、一一、一二      |  |
| 風俗研究 一七四、一七五     |  |
| 神社協會雜誌 三十三ノ一〇、一一 |  |
| 人類學雜誌 四九ノ一一、第三附錄 |  |
| 上毛及上毛人 二一一、二一二   |  |
| 刀劍會誌 四〇一、四〇二     |  |
| 經濟史研究 一二ノ五、六     |  |
| 考古學 年報(一九三四)     |  |
| 考古學雜誌 二四ノ一〇、一一   |  |
| 國學院雜誌 九ノ一一、一二    |  |
| 國民經濟雜誌 五七ノ五、六    |  |
| 國史學 二〇           |  |
| 國史回顧會紀要 二二       |  |
| 皇 學 二ノ三          |  |
| 密教研究 五三          |  |
| 萬葉集研究 辰巳利文編      |  |
| 嚴 櫃 四ノ四五、四六      |  |
| 大谷學報 一五ノ三        |  |
| 歷史地理 六四ノ五、六      |  |
| 歷史教育 九ノ七、八、九     |  |
| 歷史と地理 三四ノ四、五     |  |
| 青丘學叢 一七          |  |
| 仙臺郷土研究 四ノ一〇、一一   |  |
| 史學雜誌 四五ノ一一、一二    |  |

- |           |  |
|-----------|--|
| 東北帝大圖書館   |  |
| 風俗研究所     |  |
| 神社協會      |  |
| 東京人類學會    |  |
| 上毛郷土史研究會  |  |
| 中央刀劍會     |  |
| 日本經濟史研究所  |  |
| 東京考古學會    |  |
| 考古學會      |  |
| 國學院大學雜誌部  |  |
| 商業研究所     |  |
| 國史學會      |  |
| 國史回顧會     |  |
| 神宮皇學館     |  |
| 密教研究會     |  |
| 竹柏會大和支部   |  |
| 大谷大學佛教研究會 |  |
| 日本歷史地理學會  |  |
| 歷史教育研究會   |  |
| 史學地理學同攷會  |  |
| 青丘學叢發行所   |  |
| 仙臺郷土研究會   |  |
| 史 學 會     |  |